



2023年度 授業の試行的実践

理想の学級・授業をつくろう

開催日時：2023年7月18日(火)10時40分～12時10分（2限）

実施方法：対面

授業担当：小川修史・岡村章司（学部・インクルーシブ教育実践論）

主催：インクルーシブ教育チーム

学部の科目である「インクルーシブ教育実践論」の授業内容である「学級・授業づくり」を取り扱いました。今回は学部3年生が対象である「特別支援教育概説A」の1コマを用いて実施しました。

受講者数は学部3年生、約100名でした。最初に、これまでの授業で学んできた内容、及びその他の授業や教育実習での学びの振り返りを行うように教示しました。振り返った内容を踏まえて、理想の学級や授業をつくり、その内容を1分間のPR動画としてまとめてもらいました。授業の最後では、各グループが作成した動画入りのタブレットを机の上に置き、各自が動画を見て回るようにしました。

授業の前半には、各自がこれまで配布された様々な資料を参照しながら、学びを振り返っている様子が観察されました。動画撮影では、紙芝居形式や屋外撮影など、ディスカッションしながら各グループが様々な方法で行っていました。内容としては、ユニバーサルな視点に基づく授業や特定の障害種の児童に対する合的配慮の具体など、多様な支援のあり方

が提案されました。

講義後のアンケートでは、「思考する機会の多さ」「満足度」に関する質問に、5段階評価とともに平均4.7と高い評価が得られました。自由記述では、「今まで以上に自主的に振り返りを行おうという気になった」など、学びの振り返りが促進されたといった感想が多く見られました。また、「いろんな視点があることが分かった」など、多様な意見を聞いたり、触れたりする機会を設けることが効果的であることが確認できました。その他に、「（子どもと）一緒に授業を作っていく姿勢が大事」「学んだ内容を形として残す活動は有効」など、多様な気づきがみられた授業になりました。

